

講義科目4-5

消化器病学モデル・コア・カリキュラム

全体目標

消化器の構造と機能を理解し、主な消化器疾患の病態生理、原因、症状、診断法と治療法の基礎知識を修得する。

(1) 消化器の構造と機能、消化器疾患の臨床症状

一般目標：

消化器の構造と機能、消化器疾患で観察される臨床症状と発生機序を理解し、その基礎知識を修得する。

到達目標：

- 1) 消化器の構造および各臓器における生理学的機能を説明できる。
- 2) 食欲不振、多食、流涎、嚥下困難・障害、吐出、嘔吐の原因と病態を説明できる。
- 3) 下痢、メレナと血様下痢、便秘、しぶり（テネスマス）・排便困難、便失禁の原因と病態を説明できる。
- 4) 鼓脹、腹鳴、腹困膨満、腹水、黄疸の原因と病態を説明できる。

(2) 消化器疾患の診断法

一般目標：

各種消化器疾患の診断法と検査法の基礎知識を修得する。

到達目標：

- 1) 消化器疾患における糞便検査、血液検査、尿検査の意義と得られた結果を説明できる。
- 2) X線検査、X線造影検査、超音波検査、内視鏡検査および腹腔鏡検査の意義と得られた結果を説明できる。
- 3) 消化器の各種生検法と組織診断、細胞診の意義と得られた結果を説明できる。

(3) 口腔・歯科の疾患

一般目標：

口腔内疾患、歯科疾患、咽頭疾患の病態生理、臨床症状、診断法ならびに治療法を学ぶ。

到達目標：

- △1) 口腔内腫瘍、咽頭部の疾患（咽頭炎、咽頭麻痺）の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △2) 歯科疾患（破折、乳歯遺残、歯瘻）と歯周疾患（歯の吸収病巣、歯肉口内炎、潰瘍性歯肉口内炎）の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

(4) 食道の疾患

一般目標：

食道疾患の病態生理、臨床症状、診断法ならびに治療法を学ぶ。

到達目標：

- △1) 食道炎、食道狭窄、血管輪異常の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △2) 巨大食道症、食道裂孔ヘルニアの原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

(5) 胃の疾患

一般目標：

胃の疾患について病態生理、臨床症状、診断法ならびに治療法を学ぶ。

到達目標：

- △1) 急性胃炎、慢性胃炎、胃排出障害、胃びらん・潰瘍の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △2) 胃内異物、胃拡張捻転症候群、胃の腫瘍の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

(6) 腸の疾患

一般目標：

腸疾患について病態生理、臨床症状、診断法ならびに治療法を学ぶ。

到達目標：

- △1) ウイルス性、細菌性・寄生虫性腸疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △2) 炎症性腸疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △3) 腸閉塞、腸重積、消化管腫瘍の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △4) 便秘、巨大結腸症、直腸脱、肛門周囲瘻（肛門周囲フィステル）の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

(7) 腹膜の疾患

一般目標：

腹膜の疾患について病態生理、臨床症状、診断法ならびに治療法を学ぶ。

到達目標：

- △1) 化膿性腹膜炎、癌性腹膜炎の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

(8) 肝・胆道系の疾患

一般目標：

肝・胆道系疾患について病態生理、臨床症状、診断法ならびに治療法を学ぶ。

到達目標：

- △1) 肝炎およびその他の肝疾患の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △2) 胆管炎、胆嚢炎、胆石症、胆嚢粘液嚢腫の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △3) 先天性および後天性門脈体循シャントの原因、

病態、診断法および治療法を説明できる。

- △4) 猫の肝リピドーシスの原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △5) 肝臓腫瘍、結節性過形成の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

(9) 膵臓の疾患

一般目標：

膵臓疾患について病態生理、臨床症状、診断法ならびに治療法を学ぶ。

到達目標：

- △1) 急性膵炎、慢性膵炎の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △2) 膵外分泌不全、膵臓腫瘍の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。